

Windsurfing Competition Rules Briefing

RRS 2013-2016

ISAF
(International Sailing Federation)

Transl. by Sen Yamaoka

1. 実際上規則42は適用されない

‘艇はセールへの風の働き、艇体への水の働きおよび競技者が単独でおこなう動作のみによって推進されなければならない’

2. 規則13 タッキング中

(旧規則 13.2 – ジャイピング中はない)

ボードがタックを変更する場合、セールが新しいタック側にはらみ(通常は1度か2度のパンプによってそうなる)、そのあとボードが進みはじめたかどうか、を注意して見る(その瞬間の艇体の位置は重要ではない)。

3. 規則17 ‘同一タックでのプロパー・コース’はない

クリア・アヘッドのボードは、クリア・アスターンのボードが内側のオーバーラップボードになろうとするのを防ぐため、マークに近づこうとする。

クリア・アスターンのボード同一タックのボードの風下にオーバーラップした場合、そのボードは制限なくラフティングできる。

4. マーク周辺にゾーンはない。

規則18.3 ‘ゾーン内でタックする場合’はない。

規則18.1,18.2(b),18.2(c)および18.4を変更する:

規則18.1の最初の文を以下のように変更する:

‘規則18は、マークを同一の側で通過することが求められている複数のボード間で、少なくともそのうちの1艇が回航または通過しようとしている時に適用が始まる。’

定義 ‘回航または通過しようとしている’とは:

‘あるボードのプロパー・コースが、マークを回航または通過するための操船を始めることである場合、そのボードはマークを回航または通過しようとしている’。

風上マーク - プレーニング・コンディションにおける操船(manoeuvre)の開始



- ・ プレーニング・コンディションにおける、風下マークと操船 (manoeuvre) が開始される場所との間の距離は、6 - 8 艇身を超えることがある(風およびボードの速度に左右される)。
スラローム・レースにおいては、10艇身を超えることがある。
- ・ プレーニング・コンディションにおける操船中は、競技者はスピードの増進または維持と、プレーニングの持続に最善を尽くしている。
こうするためにボードがとる航跡は、理論的に言えば相称的な円にできるだけ近づけるべきである。
競技者は、ダウンウインド・レイル(ボードのエッジ)を押し下げることによって操船を開始する。

C節の規則(規則18,19,20および21)は、航行可能な水面に囲まれたスタート・マークまたはそのアンカー・ラインにおいて、ボードがスタートするためにそれらに近づいている時点から通過し終わるまで、適用されない(C節前文)。

規則18 ‘マークルーム規則’ は、マークを同一の側で通過することが求められている複数のボード間で、少なくともそのうちの1艇が回航または通過しようとしている時に適用が始まる。ただし、次の場合には適用されない:

- ・ 風上に向かうビートで反対タックのボード間;



- ・ 両艇ではなくどちらか一方の艇のマークにおけるプロパー・コースがタックすることである場合、反対タックのボード間



- ・ マークに向かうボードとマークから離れるボード間
- ・ マークが連続した障害物の場合には、規則19が適用される



注意して見ること:

- ・ 競技者の足の位置の変更、
 - ・ 身体的位置の変更 そして
 - ・ 規則18が適用された瞬間に定まったセールとボードの位置に何らかの変化があるか。
- プレーニング・コンディションではない場合、操船の開始はマークの近くであり、操船(manoeuvre)はごく普通のものとなる。
- 競技者が前方への大きなセールの動きと合わせアップウインド・レイルを押し下げることによってジャイブを開始する時、操船が開始する。競技者はブームを素早く離し、新しいタックでセールがはらむよう試みる。
- マストに近い手をみること、セールでもボードでもない。

言い換えれば、規則18は次の場合に適用する:

- ・ 風下マーク - 常に;
- ・ ゲートマークにおいて - ボードが同一のマークを同一の側で回航または通過している時は常に;
- ・ 風上マークにおいて - 複数のボードがオーバーラップしていて、先頭艇がマークを回航または通過しようとしている場合には、その時点での外側艇は、それ以降内側艇にマークルームを与えなければならない。ただし、マークルームを与えられたボードが風位を越えた場合、規則18(b)の適用は終了する。規則18.2(c)

規則18.4 ジャイブまたはベアウエイする場合

内側にオーバーラップした航路権のあるボードが、プロパー・コースを帆走するために、マークにおいてジャイブもしくはベア・ウェイしなければならない場合、そのボードは、ジャイブもしくはベア・ウェイするまではそのコースを帆走するために必要とする以上にマークから離れて帆走してはならない。規則18.4はゲート・マークでは適用されない。

5. 規則 23.1 転覆、座礁、救助

可能な場合には、ボードは、転覆しているかまたは転覆した後コントロールを回復していないボード、座礁しているボード、または危険な状態にある人員または船舶を救助しようとしているボードを回避しなければならない。

6. 規則 23.2

可能な場合には、転覆または座礁しているボードは、他のボードを妨害してはならない。

7. 規則 24.3 セールを水の外に出すこと

スタート信号の1分前から、ボードは、セールを水から上げ、正常な状態にしておかなければならない。ただし、偶発的に転覆した場合を除く。

8. 規則 31 マークとの接触
マークに触れてもよい、しかしつかまってはならない。

9. 規則 44.2 360° 回転ペナルティー
回転ペナルティー - タックとジャイブを必要としない1回の360° 回転。
ボードを注意して見ること、セールではない。

10. スタート

軽風時

- ・ ボードはきわめて早いうちにライン上に '位置' し、後進するようセールを逆に張ることによって位置を保つ;
- ・ ボードはレース委員会艇に接触してもよいが、つかまってはならない;
- ・ セール は正常な位置でなければならない(水から上げて)。

プレーニング・コンディション

- ・ フリートの一部はスターボード・タックで、残りはポート・タックでスタートする。これら2つの大きさはスタート・ラインと風向間の角度に左右される;
- ・ 両方の接近がスタート・ラインの中間点近くで発生する。
インシデントがあった場合、考えうる救済要求 - 62.1(e)に関する詳細を書きとめること。さらにその時にペナルティー回転があったか?
規則62.1(e) '第2章の規則に違反したボートの行動による転覆'

11. アップウインド・レグ(風上行)

クローズホールドのコースと風向間の角度は、風速と波に左右される:

- ・ 10 Kts 未満 - 40-45°
- ・ 10-12 Kts 以上 - 60-70°
- ・ ボードは止めどなく方向を変更(蛇のごとく)。

自分の位置に注意を払うこと

12. 空き番

13. ダウンウインド・レグ(風下行)

- ・ 風速 6-8 Kts - 170° -190°
- ・ 風速 12-22 Kts - 135° -225°
- ・ 風速 15 Kts - 3艇身 / 1秒未満

自分の位置に注意を払うこと

14. フィニッシュ

規則 61.1(a)の最後の文:

‘抗議しようとするボードは、フィニッシュまたはリタイア後、可能な限り速やかに、抗議する意思をレース委員会に伝えなければならない。’

メダルレースでは有効でない。

15. メダルレース

(a) 規則 20 – アーム信号は必要ない。

(b) ボランタリー・ペナルティー:

- ・ ボードはタックとジャイブを必要としない1回の360°回転を速やかにしなければならない。
ボードを注意して見ること、セールではない。

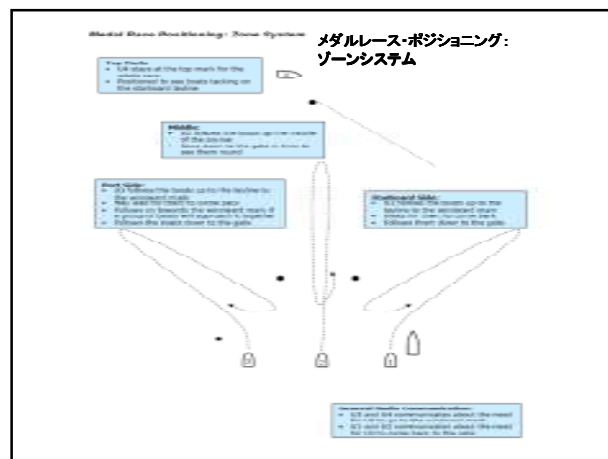
(c) 赤色旗の掲揚は必要ない。

(d) 規則 31.1 – マークに触れてもよい、しかしつかまってはならない。

(e) アンパイア赤色旗 – タックとジャイブを必要としない1回の360°回転。

• **ADDENDUM Q**

UMPIRED FLEET RACING



16. スラローム

- ・ プレーニング・コンディションにおいては、競技者は、ダウンウインド・レイル(ボードのエッジ)を押し下げることによってマーク回航の操船を開始する。セールの位置もまた競技者の身体の位置と同様に変化する。

この瞬間が規則18の適用が開始する時である。

- ・ この操船中、競技者はスピードを維持し、プレーニングの持続に最善を尽くしている、その時ボードがとる航跡は理論的に言えば相称的な円に近くなる。

競技者の足の位置の変更、身体の位置の変更および規則18が適用された瞬間に定まったセールとボードの位置に何らかの変化があるか、を注意して見ること:

・ プレイニング・コンディションでない場合、競技者が前方への大きなセールの動きと合わせアップウインド・レイルを押し下げることによってジャイブを開始する時、操船が開始する。競技者はブームを素早く離し、新しいタックでセールがはらむよう試みる。

マストに近い手を見ること、
セールでもボードでもない。

17. 最終的な助言

プレイニング・コンディションでない場合、波を起こさないこと。競技者がボード上でバランスを保つことは非常に難しい。

プレイニング・コンディションの場合、角度は他のボードとは異なる。

他ボードはタックまたはジャイブのあと非常に速く加速する。

自分自身の位置に注意を払うこと



JAPAN WINDSURFING ASSOCIATION